

※ 各法人の年度計画に係る業務実績を検証してください。実績の検証は法人ごとに行うものであり、法人間の比較を行うものではありません。

委員氏名 [

]

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

4ブロック：2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立～ 2-2-3 費用の削減

2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
<p>(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 項目番号 44 理事長のイニシアチブの下、医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう組織体制を引き続き確保できる弾力的な組織づくりを進める。</p>	<p>・専門職の雇用を増員し、組織力の強化に努めた。 ※医療クラーク：18人増（20人→38人） ※病棟等看護クラーク：10人増（16人→26人） ・また、併せて事務局体制を強化するため、事務局次長及び総務課人事労務担当チーフを新設する組織改正を行った。</p>	III	<p>(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 項目番号 41 理事長のリーダーシップのもと新たに設置された「経営企画課」、「地域医療連携センター」を機能させ、医療環境の変化や住民の医療需要への的確な対応を目指す。</p>	<p>(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 ・医療環境の変化や住民の医療需要に的確に対応できるよう「経営企画課」を設置し、経営分析や予測、各種広報の展開など、経営基盤の強化を図った。 ・「地域医療連携センター」を組織再編により立ち上げ、地域医療連携の強化に本格的に着手できる体制を構築した。 ・理事長をはじめとした幹部職員による院内ラウンドを行い、医療現場における問題点や院内環境の現状把握、改善に努めた。</p>	III	<p>(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 項目番号 36 理事長のリーダーシップが発揮できる組織体制を構築するとともに、事務部門の組織体制の強化を図る。</p>	<p>人事労務・経営企画の業務量増加に対応し、総務課管理調整担当にプロパーの常勤職員を1名増員し、事務管理部門の組織体制を強化した。</p>	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 III	検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 III	検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 III	検証結果
<p>(2) 各種業務のIT化の推進 項目番号 45 人事給与システム、旅費システム、経営管理システムなど各種事務処理において、ITを活用することで、ペーパーレス化、迅速化など事務の合理化を図る。</p>	<p>・ASPサービスの利用により人事・給与システムを導入するとともに、手当の増加や給与表の改定等にすみやかに対応するなど、給与計算事務を支援した。また、旅費計算を行うパッケージソフトを導入し、旅費計算事務の効率化を図った。 ・電子カルテシステム最適化事業を実施し、システム全体を調査・分析し、次年度の委託業務の見直しを行うことにより、コスト削減を実現した。</p>	III	<p>(2) 各種業務のIT化の推進 項目番号 42 組織体制強化に伴う職員の増加に対応するため、医療系・事務系端末の配置を見直し、業務の効率化を図る。</p>	<p>(2) 各種業務のIT化の推進 ・職員の増加等に対応するために必要なネットワーク工事を行った。 ・薬剤部に持参薬管理システムを導入した。 ・化学療法室に抗癌剤レジメンシステムを平成24年度に導入できる準備を整えた。</p>	III	<p>(2) 各種業務のIT化の推進 項目番号 37 人事給与システム、旅費システム、経営管理システムなどのITを有効に活用するための研修会を開催する。</p>	<p>・人事給与システム操作研修 新任、転任の事務職員に対し、操作研修を実施した。 研修開催日：平成23年5月24日 参加人数：3名</p>	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 III	検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 III	検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 III	検証結果

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院						
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価					
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価				
<p>(3) アウトソーシング導入による合理化 項目番号 46 アウトソーシングの導入については、病院経営とのバランスを考慮しながら、委託内容や方法などの見直しを行う。</p>	<p>・庁舎管理部門（清掃、設備監視、防災他）や医療部門（給食、医事業務、洗濯業務他）の専門的スキルを有する部門について、アウトソーシングを導入しているが、特に情報業務システム関連業務、SPD業務の契約において、平成23年度に質・量の徹底的な見直しを実施したことによって、次年度の契約において、大幅な経費節減を実現できた。</p> <p>アウトソーシング導入件数</p> <table border="1"> <tr> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>1,857 件</td> <td>2,601 件</td> </tr> </table> <p>※電子カルテシステム中のデータをCD出力した件数</p>	H22	H23	1,857 件	2,601 件	III	<p>(3) アウトソーシング導入による合理化 項目番号 43 ・外來駐車場の有料化に伴い今年度から駐車場の料金収入が発生する。その料金収入の範囲内で、駐車場の管理運営業務全般を外部委託し、運営経費を削減する。</p> <p>・医事業務委託契約に、受託業者からの提案に基づく成果に対応した成功報酬制度を採用する。患者サービス、診療報酬請求、DPCデータの活用等の業務改善提案について、その実現性、有効性を整理分析し、有効活用することで、経営の効率化、人材の育成を目指す。</p>	<p>(3) アウトソーシング導入による合理化</p> <p>・駐車場の管理運営業務全般を外部委託したことにより、22年度まで委託していた駐車場整理・誘導業務委託経費、正面玄関前警備業務経費を削減した。</p> <p>・医事業務委託については、プロポーザル方式による複数年契約の採用や成果報酬制度の導入等、仕様内容を大幅に見直し、費用の節減、事務の合理化を図った。また、レセプトチェックシステム、DPCコーディング検証の導入により、効率的な事務の推進、収益向上も実現した。</p>	III	<p>(3) アウトソーシング導入による合理化 項目番号 38 定期的な業務についてはアウトソーシングを導入することにより各種事務合理化を進める。</p>	<p>アウトソーシングの導入可能な定期的な業務の検討を行ったものの、H23年度において導入可能な事案がなかったが、今後は材料の一部SPD導入の可能性等も含めて検討を行う。</p>	II
H22	H23											
1,857 件	2,601 件											
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果 III	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果 III	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果 II	検証 結果				
<p>(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立 項目番号 47 機動的、効率的な病院運営を図り平成22年度に策定した「事務職員の人材開発」に積極的に取り組むとともに、積極的に各種研修会に参加するなど地方独立行政法人化に合わせて整備した経営企画機能部門・人事労務管理部門を強化し、経営環境の変化に対応できる業務執行体制を確立する。</p>	<p>・経営効率の高い業務執行体制の確立 独立行政法人化に合わせて、経営企画課を新設し、経営分析等を行うことで、経営改善すべき点の把握につとめ、効率的な病院運営を図るための方策等を検討した。</p> <p>また、併せて事務局体制を強化するため、事務局次長及び総務課人事労務担当チーフを新設する組織改正を行った。</p>	III	<p>(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立 項目番号 44 ・病院の政策企画部門として、「経営企画課」を設置し、病院の進むべき方向性や経営戦略、経営基盤の強化に向けた検討を進める。</p> <p>・医療連携、退院調整及び医療相談部門を統合し、地域医療連携を総合的に担う「地域医療連携センター」を設置し、二次医療圏における効率的な前方支援及び後方支援の実現を目指す。</p> <p>・地域医療連携センターを中心に各診療科、中央放射線部、臨床検査科等が連携を密にし、高度医療機器の利用予約のあり方等について改善を図り、利用を促進させる。</p> <p>・事務部門の経営分析能力向上のため、職員を育成支援する。</p> <p>・診療報酬請求事務に関する専門性向上のため、診療情報管理士等の資格取得を支援する。</p>	<p>(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立</p> <p>・病院の経営企画機能を強化するため、事務局に「経営企画課」を設置し、経営分析や予測、各種広報等、経営基盤の強化を図った。</p> <p>・「地域医療連携センター」を立ち上げ、地域の開業医への積極的な訪問活動や、高度医療機器の利用促進のため、連携予約枠の追加などを進めた。</p> <p>・DPC環境下における病院収益向上を図るため、病院職員が、診療報酬請求やコスト管理等にかかる専門研修や講演会等へ積極的に参加した。</p> <p>・医事課担当職員1名に対し、診療情報管理士の資格取得に向けた支援を行い、資格を取得した。</p>	III	<p>(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立 項目番号 39 経営企画機能を強化することで、経営効率の高い業務執行体制を確立するとともに、職員の意見が反映されやすい風通しの良い組織運営に努め、「企業体意識」の向上を目指す。</p> <p>また、定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用する制度を整備する。</p> <p>さらに、各種経営分析を行い、その結果を経営に活用できる体制づくりに取り組む。</p>	<p>毎月第4木曜日開催の管理会議に職員の代表者2名がオブザーバーとして参加。管理会議後には職員と管理者（経営者）との意見交換会を開催し、業務・経営に関する意見や提案などを病院運営に反映させ、風通しの良い組織づくりに努めた。</p> <p>また、月次決算状況を理事長に提出する際には月次のキャッシュフローを添付し、資金の流れや資金量を常に注視する体制づくりに努めた。</p>	III				
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果 III	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果 III	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果 III	検証 結果				

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院			
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	
			(5) 時差出勤制度の導入 項目番号 45 女性医師を中心とした希望者に対し、時差出勤や短時間勤務などの利用を進め、勤務の負担軽減を図ることで、積極的な病院運営参画を促す。	(5) 時差出勤制度の導入 ・ 女性医師 1 名に短時間勤務制度(週 20 時間)を適用し、ワークライフバランスを支援し、女性医師の離職防止を図った。	III				
			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			H22 検証 結果	III		

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

2-1-2 組織体制、人員配置の弾力的運用

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
<p>(1) 弾力的運用の実施 項目番号 48 医療需要や患者動向の変化に迅速・柔軟に対応した診療科の変更、医師・看護師等の配置の弾力的運用を行う。平成23年度は、成人先天性心疾患診療科、心臓カテーテル室、専門外来（女性、頭痛、ものわすれ）等を設置予定、平成22年度は、不整脈科、心臓リハビリテーション部、総合麻酔センター等を設置</p>	<p>・平成23年度においては、成人先天性心疾患診療科、心臓カテーテル室、専門外来（頭痛、緩和ケア、心臓リハビリテーションなど）等を設置し、医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した。</p>	III	<p>(1) 弾力的運用の実施 項目番号 46 ・医療需要の変化や患者動向に迅速に対応するため、継続的に地域医療連携推進協議会（年4回）や多治見病院運営協議会（年1回以上）を開催し、医療関係者や行政機関、地域住民等からの意見や要望を聴取する。 ・各診療部門の状況の変化に迅速に対応できるよう、医師、看護師、臨床心理士等の人事配置で弾力的な運用を心がける。</p>	<p>(1) 弾力的運用の実施 ・ 地域医療連携推進協議会を4回、多治見病院運営協議会を2月に開催し、地域内の医療関係者等から意見聴取を行った。また登録医を中心に訪問活動を実施し、医療ニーズの把握に努めた。 ・ 精神科病棟の開設に備え、精神保健福祉士1名を、医療相談業務の拡充のため、社会福祉士（MSW）2名を採用した。 ・ 医療連携を推進するため、新たに事務職員を1名、医療連携室に配置した。</p>	III	<p>(1) 弾力的運用の実施 項目番号 40 医療需要の変化や患者の動向に迅速に対応するため、診療科の変更や医師・看護師等の配置の弾力的運用に努める。特に看護師については業務量に応じ柔軟な職員配置を行うとともに、適材適所の人事に努める。</p>	<p>【柔軟な勤務配置】 看護部では状況に応じてタイムリーな支援体制を構築するよう入退院患者数や看護必要度の把握を行った。それによりスタッフの支援体制に関する意識が高まり、支援の申し出が増加した。また支援を受ける部署は支援業務を明確にし、スムーズな対応に努めた。 *全部署からの総支援時間数 H22 2360.6時間 → H23 3075.6時間</p>	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		
H22 検証結果 III			H22 検証結果 III			H22 検証結果 III		

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																										
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																									
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																								
<p>(2) 効果的な体制による医療の提供 項目番号 40</p> <p>常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用など、効果的な体制による医療の提供に努める。</p> <p>特に、医療職サポートシステム（医療クラーク：20人（平成22年度）→26人、病棟等看護クラーク：17人（平成22年度）→20人）の強化、充実を図る。</p>	<p>・医療職サポートシステムの強化、充実を図るため各種クラークを採用した。</p>	IV	<p>(2) 効果的な体制による医療の提供 項目番号 41</p> <p>・昨年度、医師の業務負担軽減を図るため、医師事務作業補助者を7名採用した。今年度は、その効果を検証しながら、4～5名を増員し、診療報酬における医師事務作業「50：1」補助体制加算を目指すことで、さらなる医師の業務負担軽減を図る。</p>	<p>(2) 効果的な体制による医療の提供</p> <p>・医師事務作業補助者を増員し、3部署での運用を7部署に拡充した。文書作成、オーダー入力業務などを行うことにより、医師の業務負担軽減を図った。</p>	IV	<p>(2) 効果的な体制による医療の提供 項目番号 41</p> <p>職種の特長に基づき、多様な勤務形態の非常勤専門職を活用することで、効率的に医療を提供する。</p> <p>また、各医療現場のニーズにあった適正な人材確保に努める。</p>	<p>【多様な勤務形態の非常勤職員の活用】</p> <p>◆当院を定年退職した看護師を非常勤看護師として2名、4時間の短時間パートを1名採用し、経験豊富な人材の確保を図った。</p> <p>◆医師事務作業補助者として、22年度の非常勤職員3名採用に引き続き23年度は新たに2名を採用した。また専門研修への参加により養成を行い、医師事務の負担軽減を更に推進した。（その結果、施設基準「医師事務作業補助加算」について24年5月に100:1から75:1へランクアップ）</p>	III																								
									<p>医師・看護師事務作業補助者数（各年3.31）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師クラーク</td> <td>20人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>看護クラーク</td> <td>16人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>36人</td> <td>64人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	医師クラーク	20人	38人	看護クラーク	16人	26人	合計	36人	64人	<p>医師・看護師事務作業補助者数（各年3.31時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師クラーク</td> <td>7人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>看護クラーク</td> <td>8人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15人</td> <td>25人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	医師クラーク	7人	16人	看護クラーク	8人	9人	合計
	H22	H23																														
医師クラーク	20人	38人																														
看護クラーク	16人	26人																														
合計	36人	64人																														
	H22	H23																														
医師クラーク	7人	16人																														
看護クラーク	8人	9人																														
合計	15人	25人																														
	H22	H23																														
医師クラーク	3名	5名																														
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	検証 結果																								
	III			III			III																									

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																						
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価																																																																																				
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項																																																																																					
<p>(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化）</p> <p>項目番号 50</p> <p>地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院間で、職種の特異性に配慮し、積極的に人事交流を行うことで、職種による人材の過不足を相互に補い、適正な職員配置を実現する。</p>	<p>・3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化）を実施した。</p> <p>・人事交流実績（出向）</p> <p>他法人からの出向（受入）6名</p> <p>〔看護師（下呂温泉病院2名）、助産師（下呂温泉病院3名）、コメディカル（多治見病院1名）〕</p> <p>他法人への出向 5名</p> <p>〔看護師（多治見病院1名）、コメディカル（多治見病院2名、下呂温泉病院2名）〕</p>	III	<p>(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化）</p> <p>項目番号 48</p> <p>地方独立行政法人岐阜県総合医療センター及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院との間で人事交流を積極的に行う。特に看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士といった医療技術職員を相互に派遣し、適正な職員配置を行うことで各地域における医療サービスの水準を維持する。</p>	<p>(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化）</p>	III	<p>(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化）</p> <p>項目番号 42</p> <p>地方独立行政法人岐阜県総合医療センター及び地方独立行政法人岐阜県立多治見病院間での人事交流を積極的に行うことで、適正な人員配置を実現する。</p> <p>平成23年度も引き続き、職種による人材の過不足に対処するため、3法人間で相互に職員を派遣し、医療サービスの水準を維持する。</p>	<p>地方独立行政法人岐阜県総合医療センター及び地方独立行政法人岐阜県立多治見病院との間で「職員の出向に関する協定書」を締結して、3病院間で過不足となる医療従事者の派遣を行い、医療サービスの水準を維持するための人員配置を行った。</p> <p>H23の状況</p> <p>◆センター→下呂</p> <p>薬剤師 2名</p> <p>臨床工学技士 1名（延べ2名）</p> <p>◆下呂→センター</p> <p>看護師 2名</p> <p>助産師 2名（3ヶ月）</p> <p>助産師 1名（4ヶ月）</p> <p>◆多治見→下呂</p> <p>臨床検査技師 2名</p> <p>◆下呂→多治見</p> <p>看護師 1名</p> <p>理学療法士 1名</p>	III																																																																																				
<p>職員の他法人への出向状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>10人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table>				H22	H23	医師			歯科医師			看護師	1人	1人	准看護師			コメディカル	10人	4人	合計	11人	5人	<p>職員の他法人への出向状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>7人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(派遣先、職種別内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先</th> <th>人数及び職員の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県総合医療センター</td> <td>薬剤師 1名</td> </tr> <tr> <td>下呂温泉病院</td> <td>臨床検査技師 2名</td> </tr> </tbody> </table>				H22	H23	医師	0人	0人	コメディカル	7人	3人	合計	7人	3人	派遣先	人数及び職員の内訳	岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名	下呂温泉病院	臨床検査技師 2名	<p>職員の他法人への出向状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>6人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(派遣元、職種別内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣元</th> <th>人数及び職員の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県総合医療センター</td> <td>看護師 1名 薬剤師 2名 計 3名</td> </tr> <tr> <td>下呂温泉病院</td> <td>看護師 1名 理学療法士 1名 計 2名</td> </tr> </tbody> </table>				H22	H23	医師	0人	0人	看護師	2人	2人	コメディカル	6人	3人	合計	8人	5人	派遣元	人数及び職員の内訳	岐阜県総合医療センター	看護師 1名 薬剤師 2名 計 3名	下呂温泉病院	看護師 1名 理学療法士 1名 計 2名	<p>職員の他法人への出向状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>2名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>助産師(短期)</td> <td></td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>1名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>1名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5名</td> <td>7名</td> </tr> </tbody> </table>				H22	H23	看護師	2名	3名	助産師(短期)		3名	薬剤師	1名		放射線技師	1名		理学療法士	1名	1名	合計	5名	7名
	H22	H23																																																																																										
医師																																																																																												
歯科医師																																																																																												
看護師	1人	1人																																																																																										
准看護師																																																																																												
コメディカル	10人	4人																																																																																										
合計	11人	5人																																																																																										
	H22	H23																																																																																										
医師	0人	0人																																																																																										
コメディカル	7人	3人																																																																																										
合計	7人	3人																																																																																										
派遣先	人数及び職員の内訳																																																																																											
岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名																																																																																											
下呂温泉病院	臨床検査技師 2名																																																																																											
	H22	H23																																																																																										
医師	0人	0人																																																																																										
看護師	2人	2人																																																																																										
コメディカル	6人	3人																																																																																										
合計	8人	5人																																																																																										
派遣元	人数及び職員の内訳																																																																																											
岐阜県総合医療センター	看護師 1名 薬剤師 2名 計 3名																																																																																											
下呂温泉病院	看護師 1名 理学療法士 1名 計 2名																																																																																											
	H22	H23																																																																																										
看護師	2名	3名																																																																																										
助産師(短期)		3名																																																																																										
薬剤師	1名																																																																																											
放射線技師	1名																																																																																											
理学療法士	1名	1名																																																																																										
合計	5名	7名																																																																																										
<p>他法人職員の受入状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1人</td> <td>2(3)人</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2人</td> <td>3(3)人</td> </tr> </tbody> </table> <p>看護師のうち()は、助産師数</p>				H22	H23	医師			歯科医師			看護師	1人	2(3)人	准看護師			コメディカル	1人	1人	合計	2人	3(3)人	<p>他法人職員の受入状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>3名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>4名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>2名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>3名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13名</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table>				H22	H23	薬剤師	3名	2名	検査技師	4名	2名	臨床工学技士	1名	1名	理学療法士	2名		作業療法士	3名		合計	13名	5名																																													
	H22	H23																																																																																										
医師																																																																																												
歯科医師																																																																																												
看護師	1人	2(3)人																																																																																										
准看護師																																																																																												
コメディカル	1人	1人																																																																																										
合計	2人	3(3)人																																																																																										
	H22	H23																																																																																										
薬剤師	3名	2名																																																																																										
検査技師	4名	2名																																																																																										
臨床工学技士	1名	1名																																																																																										
理学療法士	2名																																																																																											
作業療法士	3名																																																																																											
合計	13名	5名																																																																																										
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果	検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果	検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果	検証結果																																																																																				
	III			III			III																																																																																					

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

2-1-3 人事評価システムの構築

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
<p>職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成、人事管理に活用するための公正で客観的な人事評価制度を構築する。なお、中期目標の期間内に当該制度を試行的に実施するため、県内・他県の先進事例を参考に、独自の人事評価制度（B S C（Balanced Scorecard）の活用等）の構築に向け引き続き検討する。</p> <p>項目番号 51</p>	<p>・人事評価制度構築への取り組み状況 独自の人事評価制度の構築に向け、研修会に参加した（7/29 大阪）。 また、講師を招き評価者を対象としたセミナーを院内で開催した（8/26）。 さらに2月には、人事評価制度検討委員会を発足させ、骨子案を作成した。</p>	III	<p>職員の勤務意欲を高めるため、職員の実績や能力を職員の給与に反映する公正で客観的な人事評価制度の構築に向けて検討を行う。</p> <p>項目番号 49</p>	<p>人事評価システムの構築に向けて、当院と同規模病院の先進事例調査を行った。今後は、コンサルタントへの業務委託を含め、検討を進める。</p>	II	<p>職員の勤務意欲を高めるため、職員の実績や能力を職員の給与に反映した公正で客観的な人事評価制度の構築に向けて検討を行う。</p> <p>項目番号 43</p>	<p>意欲をもって働くことができる人事評価制度の構築に向けて、平成23年度は関係の研修会への参加を行った。</p> <p>◆「人事制度改革の要点」公開セミナー 大阪市 H23. 11. 21 参加者：総務課長</p> <p>◆公正採用選考に係る研修会 多治見市 H24. 1. 25 参加者：総務課長</p> <p>病院の現状に即した人事評価制度構築のための情報収集及び検討を行った。</p>	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		I22 検証 結果 III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		I22 検証 結果 III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		I22 検証 結果 II

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

2-1-4 事務部門の専門性の向上

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
<p>新たに必要となった人事労務機能の強化のため、総務課内に設置した「人事労務担当」、経営管理機能を強化するために設置した「経営企画課」に関して、論点整理した課題と問題点を今後の組織体制に活かすとともに更なる専門性の向上を図る。</p> <p>そのため、平成22年度に策定した「事務職員の人材開発」に積極的に取り組み、新人職員の院内研修を行うとともに人事・労務管理に関する研修、病院経営に係る財務経営分析等の研修、危機管理に関する研修、医事管理の専門研修などへの参加を支援するとともに、プロパー（事務職）職員を計画的に採用し、事務部門の病院運営や医療事務に精通した職員を確保する。</p> <p>項目番号 52</p>	<p>・総務課内に「人事労務担当」を設置し、プロパー（事務職）職員を計画的に採用（事務職員4名）し病院運営や医療事務に精通した事務職員を確保した。</p> <p>・経営企画課主導による経営状況の分析、課題への取組等について経営会議において検討し、収益体質の向上や効率的な経営に取り組み収益の増加やコスト削減に寄与した。</p> <p>また、経営企画課職員ごとに職務に関連する研修に参加した。</p> <p>・経営会議 月1回開催 毎月の経営状況の把握、診療科別損益計算や病院機能評価等を課題として実施した。</p> <p>・施設基準 診療内容を精査し、8項目を新規に届出し、収益性の向上に取り組んだ。</p>	III	<p>・事務部門については、担当する業務に関する専門的な研修に加え、事務部門が病院の経営管理や人事・労務・給与等の内部管理といった多岐にわたる業務を担当することから総合職としての資質を高める基本的な研修制度を確立していく。また、専門性を持った外部人材の確保に取り組む。</p> <p>・診療報酬請求事務に関する専門性向上のため、診療情報管理士等の資格取得を支援するとともに、業務委託しているレセプト点検・内査業務にも職員が積極的に関与していく。</p> <p>・医事業務委託業者と連携し、委託業者の内部職員向け研修へ病院職員が参加できる仕組みを構築し、窓口業務から診療報酬請求業務まで、事務部門職員の専門性向上を図る。</p> <p>項目番号 50</p>	<p>○専門的な人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年4月1日付けで、病院職員の労働環境を整備するため社会保険労務士1名を採用した。 平成23年9月1日付けで、他の病院の事務経験者1名を採用した。 平成23年9月1日付けで、他の病院で相談業務に従事していた者1名を採用した。 <p>○職員の資質向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度から事務職員とコメディカル部門の職員を対象として、新規採用者には月1回（3時間）の基本的な研修を実施するとともに、新任の昇任者については階級別の研修を課している。この中で主査級職員6名については、3日間の民間企業研修を行った。【基本研修】 事務部門について宿泊研修を行い、県立3病院の事務職員22名が参加した。【専門研修】 事務職員の専門性の向上を図るため、医事課職員1名が診療情報管理士養成講座を、相談業務に従事する職員1名が「精神保健福祉士」の通信教育をそれぞれ受講し、2名とも資格を取得した。 DPCコーディングの検証を主目的に毎月2回程度実施している医師を中心とした検証作業に事務局職員も参加し、知識向上に努めた。 	III	<p>病院特有の事務に精通し、法人の事務及び経営の中心となるプロパー職員を計画的に確保するとともに、プロパー職員には診療報酬事務、病院経営等の専門研修に積極的に出席させるなど、事務部門の専門性の向上に努める。</p> <p>また、診療報酬事務担当職員及び経営事務担当職員を各種団体が実施する専門研修に出席させることとともに、病院経営幹部職員も各種病院マネジメント研修を受講し、経営改善に役立てる。</p> <p>項目番号 44</p>	<p>平成23年度プロパー事務職員採用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 総務課配置 3名 医療サービス課配置 2名 <p>10月には新規採用職員の研修を実施</p> <p>事務局職員の専門性向上のための研修等受講状況</p> <p>【医療サービス課職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 初任者診療報酬管理研修会 1名 5月13日、3月23日（東京） 医師事務作業補助者養成研修 2名 10月6～7日（大阪） 12月17～18日（東京） 平成24年度診療報酬改定研修 4名 1～3月（名古屋、東京、横浜等） <p>【総務課職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院、医療機関のための人事労務管理研修 1名 3月15日（東京） 	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	III

事務職員の状況 (各年3.31時点)

	H22	H23
プロパー職員	0人	10人
県派遣職員	30人	28人
合計	30人	38人

事務職員の状況 (各年3.31時点)

	H22	H23
プロパー職員	8人	20人
県派遣職員	23人	15人
合計	31人	35人

事務職員の状況 (各年3.31時点)

	H22	H23
プロパー職員		5名
県派遣職員	22名	19名
合計	22名	24名

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

2-2-1 多様な契約手法の導入

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
<p>入札・契約については透明性・公平性を図るため、民間病院や先行した地方独立行政法人の取り組みを参考に、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法の導入に向け検討し、集約化・簡素化・迅速化を図り、経費の節減を図る。</p> <p>項目番号 53</p>	<p>・診療材料について、マスター登録を精査し、病院全体で取り組んだ結果、登録材料件数約 19,000 件を約 9,000 件へと半減し、効率的管理が推進できた。</p> <p>・保険償還のない材料を中心に、メーカー間の競争等を促し、価格交渉を継続して年間約 800 万円の節減に加え、保険償還のある材料についても価格交渉を継続し年間約 170 万円の節減となった。</p> <p>・各部署における診療材料の定数品目及び数量の見直しを行った。</p>	IV	<p>昨年度、病院関連の業務委託契約について、理事長が中心となり契約内容及び契約方法の再検討を行い、全体的な見直しを行った。今年度も引き続き他県先行地方独立行政法人や民間病院の取り組みを参考に、事務合理化及び費用の節減を図る。</p> <p>項目番号 51</p>	<p>・コンサルティングを導入し、契約手法や費用について検討を行った。</p> <p>・医事業務委託については、プロポーザル方式による複数年契約の採用や成果報酬制度の導入等、仕様内容を大幅に見直し、費用の節減、事務の合理化を図った。</p> <p>・看護補助業務、院内洗濯業務、SPD(物流管理)運用業務を包括契約とした。</p> <p>・これまで専用部と共用部に分けて契約をしていた清掃業務について、一本化することを決定し、契約金額の削減を図った。</p>	III	<p>民間病院の取り組みを参考に、維持管理業務委託などで複数年契約や複合契約などの多様な契約手法の導入により、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図る。</p> <p>特に、高度医療機器については、購入後のメンテナンス費用も考慮する必要があることから、メンテナンスも含めた入札、契約方法の導入について検討を行う。</p> <p>項目番号 45</p>	<p>【管財】 維持管理業務について、従来より単年度で契約していた業務について、平成23年度から3年間の複数年契約とし、契約事務の集約化・簡素化・効率化を図ると共に経費節減に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 警備、電話交換業務 機械及び監視室等保全管理業務 建物清掃委託業務 消防設備保守点検業務 <p>【用度】 医療機器保守委託業務について入札・見積合わせ等の競争原理を導入、また高度医療機器（X線CT装置）における保守委託業務について複数年契約を導入し経費節減を図った。</p> <p>なお、購入後のメンテナンス費用も含めた総額入札を行う場合は、メンテナンス業務が購入先でしか行えないことが前提となることから、これらを踏まえて運用する必要があることとした。</p>	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果 III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果 IV	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果 III

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

2-2-2 収入の確保

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																																																																
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価																																																																																																																																																														
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項																																																																																																																																																															
<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用</p> <p>項目番号 54</p> <p>担当看護師の配置と空床管理マニュアルにより、効率的な病床管理を徹底し、病床利用率の向上に取り組む。また、医療機器については、開放型病床登録医師（地域開業医師）との病診連携を密にし、開放型病床を活用することで、医療機器の稼働率の向上を図る。</p>	<p>・地域の医療機関等との連携として、共同指導、病床(100床)・設備の開放を行い病診連携を推進した。</p> <p>開放型病床利用率、共同指導回数(月平均)の推移</p> <table border="1"> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> <tr> <td>共同指導</td> <td>15.8</td> <td>12.7</td> <td>14.5</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>72.6%</td> <td>75.3%</td> <td>66.3%</td> </tr> </table> <p>・MRI、CT、胃カメラ等の検査は登録医からのFAXにより気軽に予約が可能となっている。</p> <p>実績</p> <table border="1"> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> <tr> <td>FAX 予約</td> <td>7,925</td> <td>8,573</td> <td>8,546</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th>H23</th> <th>H22</th> <th>H23/H22</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">外 来</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>285,186</td> <td>274,440</td> <td>103.9</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>1,169</td> <td>1,129</td> <td>103.5</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>4,092</td> <td>3,965</td> <td>103.2</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>14,348</td> <td>14,448</td> <td>99.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入 院</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>193,205</td> <td>191,389</td> <td>100.9</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>528</td> <td>524</td> <td>100.8</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>12,508</td> <td>11,590</td> <td>107.9</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>64,741</td> <td>60,555</td> <td>106.9</td> </tr> <tr> <td>在院日数</td> <td>日</td> <td>13.4</td> <td>13.2</td> <td>101.5</td> </tr> <tr> <td>病床稼働率</td> <td>%</td> <td>89.5</td> <td>88.9</td> <td>100.7</td> </tr> </table>	項目・年度	H21	H22	H23	共同指導	15.8	12.7	14.5	病床利用率	72.6%	75.3%	66.3%	項目・年度	H21	H22	H23	FAX 予約	7,925	8,573	8,546			H23	H22	H23/H22	外 来	患者数	人	285,186	274,440	103.9	平均患者数	人/日	1,169	1,129	103.5	診療額	百万円	4,092	3,965	103.2	診療単価	円/日	14,348	14,448	99.3	入 院	患者数	人	193,205	191,389	100.9	平均患者数	人/日	528	524	100.8	診療額	百万円	12,508	11,590	107.9	診療単価	円/日	64,741	60,555	106.9	在院日数	日	13.4	13.2	101.5	病床稼働率	%	89.5	88.9	100.7	III	<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進</p> <p>項目番号 52</p> <p>・昨年度に導入したDPC分析システムを活用し、院内のDPC委員会において、在院日数や医療資源などの各種指標について他院とのベンチマークを通じて現状を把握し、より効果的な病床管理、検査や投薬、医療機器の運用に役立て、医療収益の向上につなげる。</p> <p>・特に、院内クリティカルパスについては標準化と効果的な運用を確立することで、効果的な病床管理を目指す。</p> <p>病床管理状況の年度比較</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">病床稼働率 (%)</td> <td></td> <td>77.0</td> <td>77.2</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>13.0</td> <td>13.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">一日当たり外来患者数</td> <td></td> <td>1,145</td> <td>1,158</td> </tr> <tr> <td>患者-1当たり診療額</td> <td>入院</td> <td>54,931</td> <td>55,134</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外来</td> <td>12,161</td> <td>12,689</td> </tr> </table>			H22	H23	病床稼働率 (%)		77.0	77.2	平均在院日数	13.0	13.2	一日当たり外来患者数		1,145	1,158	患者-1当たり診療額	入院	54,931	55,134		外来	12,161	12,689	III	<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用</p> <p>項目番号 46</p> <p>病床利用率については、病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効果的な活用ができるよう病床管理の徹底を引き続き行う。</p> <p>医療機器については、医師確保により稼働率の向上を目指すとともに、有効活用の点から開業医等の受託促進に努める。</p> <p>◆病床利用率</p> <table border="1"> <tr> <th>病棟</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> <tr> <td>A-3</td> <td>59.7%</td> <td>58.5%</td> </tr> <tr> <td>A-5</td> <td>54.3%</td> <td>33.0%</td> </tr> <tr> <td>B-2</td> <td>61.3%</td> <td>64.9%</td> </tr> <tr> <td>B-3</td> <td>69.5%</td> <td>64.8%</td> </tr> <tr> <td>B-4</td> <td>64.5%</td> <td>62.8%</td> </tr> <tr> <td>B-5</td> <td>59.2%</td> <td>61.8%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>53.9%</td> <td>51.4%</td> </tr> </table> <p>◆その他の指標</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>63,884 人</td> <td>61,168 人</td> </tr> <tr> <td>1日平均入院患者数</td> <td>175 人</td> <td>167 人</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>17.7 日</td> <td>18.3 日</td> </tr> <tr> <td>入院収益</td> <td>2,456,820 千円</td> <td>2,307,847 千円</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価</td> <td>38,458 円</td> <td>37,730 円</td> </tr> <tr> <td>外来延患者数</td> <td>86,477 人</td> <td>82,152 人</td> </tr> <tr> <td>1日平均外来患者数</td> <td>356 人</td> <td>337 人</td> </tr> <tr> <td>外来収益</td> <td>890,907 千円</td> <td>890,834 千円</td> </tr> <tr> <td>外来診療単価</td> <td>10,302 円</td> <td>10,844 円</td> </tr> <tr> <td>室料差額収益</td> <td>12,558 千円</td> <td>13,555 千円</td> </tr> <tr> <td>受託検査収益</td> <td>1,867 千円</td> <td>1,793 千円</td> </tr> </table> <p>注1) 平均在院日数は重症者・回復期病棟等を除く 注2) 金額は税込で表示</p>	病棟	H22	H23	A-3	59.7%	58.5%	A-5	54.3%	33.0%	B-2	61.3%	64.9%	B-3	69.5%	64.8%	B-4	64.5%	62.8%	B-5	59.2%	61.8%	全体	53.9%	51.4%	項目	H22	H23	入院延患者数	63,884 人	61,168 人	1日平均入院患者数	175 人	167 人	平均在院日数	17.7 日	18.3 日	入院収益	2,456,820 千円	2,307,847 千円	入院診療単価	38,458 円	37,730 円	外来延患者数	86,477 人	82,152 人	1日平均外来患者数	356 人	337 人	外来収益	890,907 千円	890,834 千円	外来診療単価	10,302 円	10,844 円	室料差額収益	12,558 千円	13,555 千円	受託検査収益	1,867 千円	1,793 千円	III
項目・年度	H21	H22	H23																																																																																																																																																																			
共同指導	15.8	12.7	14.5																																																																																																																																																																			
病床利用率	72.6%	75.3%	66.3%																																																																																																																																																																			
項目・年度	H21	H22	H23																																																																																																																																																																			
FAX 予約	7,925	8,573	8,546																																																																																																																																																																			
		H23	H22	H23/H22																																																																																																																																																																		
外 来	患者数	人	285,186	274,440	103.9																																																																																																																																																																	
	平均患者数	人/日	1,169	1,129	103.5																																																																																																																																																																	
	診療額	百万円	4,092	3,965	103.2																																																																																																																																																																	
	診療単価	円/日	14,348	14,448	99.3																																																																																																																																																																	
入 院	患者数	人	193,205	191,389	100.9																																																																																																																																																																	
	平均患者数	人/日	528	524	100.8																																																																																																																																																																	
	診療額	百万円	12,508	11,590	107.9																																																																																																																																																																	
	診療単価	円/日	64,741	60,555	106.9																																																																																																																																																																	
	在院日数	日	13.4	13.2	101.5																																																																																																																																																																	
病床稼働率	%	89.5	88.9	100.7																																																																																																																																																																		
		H22	H23																																																																																																																																																																			
病床稼働率 (%)		77.0	77.2																																																																																																																																																																			
	平均在院日数	13.0	13.2																																																																																																																																																																			
一日当たり外来患者数		1,145	1,158																																																																																																																																																																			
	患者-1当たり診療額	入院	54,931	55,134																																																																																																																																																																		
	外来	12,161	12,689																																																																																																																																																																			
病棟	H22	H23																																																																																																																																																																				
A-3	59.7%	58.5%																																																																																																																																																																				
A-5	54.3%	33.0%																																																																																																																																																																				
B-2	61.3%	64.9%																																																																																																																																																																				
B-3	69.5%	64.8%																																																																																																																																																																				
B-4	64.5%	62.8%																																																																																																																																																																				
B-5	59.2%	61.8%																																																																																																																																																																				
全体	53.9%	51.4%																																																																																																																																																																				
項目	H22	H23																																																																																																																																																																				
入院延患者数	63,884 人	61,168 人																																																																																																																																																																				
1日平均入院患者数	175 人	167 人																																																																																																																																																																				
平均在院日数	17.7 日	18.3 日																																																																																																																																																																				
入院収益	2,456,820 千円	2,307,847 千円																																																																																																																																																																				
入院診療単価	38,458 円	37,730 円																																																																																																																																																																				
外来延患者数	86,477 人	82,152 人																																																																																																																																																																				
1日平均外来患者数	356 人	337 人																																																																																																																																																																				
外来収益	890,907 千円	890,834 千円																																																																																																																																																																				
外来診療単価	10,302 円	10,844 円																																																																																																																																																																				
室料差額収益	12,558 千円	13,555 千円																																																																																																																																																																				
受託検査収益	1,867 千円	1,793 千円																																																																																																																																																																				
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 II																																																																																																																																																																	

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																															
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価																																														
<p>(2) 未収金の発生防止対策等 項目番号 55</p> <p>診療報酬の請求もれ防止と未収金の発生の未然防止を徹底するため、入院患者に対し退院時に請求できる体制づくりへの取組や相談窓口拡充を図る。発生した未収金については、平成 22 年度に債権回収に係る委託契約を締結しており回収状況を確認するとともに、引き続き先進的な取組を行っている病院の取り組みを参考に実効性のある回収手段を検討する。</p>	<p>○発生防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院説明室 (H22.5 設置) で、入院決定時に概算費用の提示や福祉制度の説明など医療相談員への仲介を実施した。また、入院患者には原則として限度額認定証の提示を求めていることを説明し、その手続きを依頼した。 医療相談員により、救急搬送患者に対する身元確認、保険確認を早期に行い、医療保険制度の活用を紹介するなど高額な患者負担額とならないよう努めた。 出産に伴う入院費について、出産一時金直接払制度を全ての出産について利用していただくよう徹底を図った。制度の利用が困難な事案については、医療相談員の介入を早期に実施し、退院時の支払が出来るよう支援を行った。 <p>○回収</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月 2 回、定期に督促状を發布し、早期に未収金回収に着手した。 督促状發布後、随時催告状を発送するとともに必要に応じ夜間電話催告や臨宅催告を行った。 未納者が受診した際には、面談による納付催告実施した。 回収困難な未収金について、弁護士法人に回収業務を委託し、回収の実績を上げた。 <p>○回収実績 (H24.2 現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託金額</td> <td>64,558 千円</td> </tr> <tr> <td>回収金額</td> <td>12,397 千円</td> </tr> <tr> <td>回収率</td> <td>19.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○センター全体の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 未収金対策部会 (H22.12 設置) がリーダーシップをとり、現状把握、回収・発生防止を病院全体で行った。 病棟による支払確認後に退院させるようにし、休日退院患者に対し、可能な場合にお退院前に入院費の計算を行い、請求する体制をとり、成果を上げた。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療相談員を 2 名増員し、各種医療相談への対応を充実させた。(H22 から) クレジットカード決済を導入 (H22.7) し、支払機会の拡大を図ることで、入院費など的高額な支払が円滑に出来るよう体制を整えた。 		実績	委託金額	64,558 千円	回収金額	12,397 千円	回収率	19.2%	IV	<p>(2) 未収金の発生防止対策等 項目番号 53</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院時説明の徹底、入院申込時の連帯保証人確認、生活保護や公費負担医療制度の活用により、未収金の発生防止に力点を置く。 未収金が発生した場合は、未収理由により分類管理し、迅速で効果的な督促を (文書、電話、訪問等) 行う。 一定期間経過後の未収金については、回収業務を弁護士法人へ委託する。 	<p>(2) 未収金の発生防止対策等</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院案内センターにおける入院時説明において、公費負担制度の説明もあわせて行った。必要に応じ、医療相談を勧め、未収金の発生防止に努めた。 発生した未収金については、速やかな督促を行い、ボーナス時期には職員による臨宅を実施し、回収に努めた。 6 ヶ月経過した者については弁護士事務所へ回収委託を行った。 平成 23 年度回収実績 5,998 千円 <p>未収金の発生状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H 2 2</th> <th colspan="2">H 2 3</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>891</td> <td>54,091</td> <td>682</td> <td>39,909</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>1,115</td> <td>83,877</td> <td>1,888</td> <td>75,823</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,006</td> <td>137,968</td> <td>2,570</td> <td>115,732</td> </tr> </tbody> </table>		H 2 2		H 2 3		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	過年分	891	54,091	682	39,909	現年分	1,115	83,877	1,888	75,823	合計	2,006	137,968	2,570	115,732	III	<p>(2) 未収金の発生防止対策等 項目番号 47</p> <p>公的制度等を可能な限り利用した未収金の発生防止対策を積極的に進めるほか、発生した未収金に対しては医療相談を行い、分納制度等の支払いやすい方法を提示して、未収金の回収に努める。使用料・手数料についても、県内の公立病院及び民間病院の状況を把握することで、適正な使用料・手数料の算定できるよう努める。</p> <p>また、未収金発生リスクの軽減を図るため、コンビニ収納導入の検討を行う。</p> <p>さらに、未収金の回収方法については、少額訴訟制度の活用も検討する。</p>	<p>未収金発生防止については、まず患者負担を減らすことを第一に考え、入院の際に高額医療費限度額適用申請や出産育児一時金代理申請 (妊婦のみ) の手続きを説明し申請を促した。</p> <p>また、医療相談により、生活保護の申請や市の福祉担当者との連絡を密にするなどし、患者の利益にもなるように努めた。</p> <p>一方、発生した未収金に対し、支払困難者については分納制度を勧め、場合によっては預金口座振替を活用するなど、未収金額を減らすよう努めた。</p> <p>未収金発生状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H 2 2</th> <th colspan="2">H 2 3</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>371 件</td> <td>7,296 千円</td> <td>340 件</td> <td>5,857 千円</td> </tr> </tbody> </table>		H 2 2		H 2 3		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	合計	371 件	7,296 千円	340 件	5,857 千円	III
	実績																																																					
委託金額	64,558 千円																																																					
回収金額	12,397 千円																																																					
回収率	19.2%																																																					
	H 2 2		H 2 3																																																			
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)																																																		
過年分	891	54,091	682	39,909																																																		
現年分	1,115	83,877	1,888	75,823																																																		
合計	2,006	137,968	2,570	115,732																																																		
	H 2 2		H 2 3																																																			
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)																																																		
合計	371 件	7,296 千円	340 件	5,857 千円																																																		

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																		
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価																																
	○クレジットカード利用実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>3.29件</td> <td>4.90件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>11.20%</td> <td>14.76%</td> </tr> </tbody> </table> 未収金発生状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H22</th> <th colspan="2">H23</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>815</td> <td>83,963</td> <td>877</td> <td>84,110</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>491</td> <td>43,898</td> <td>429</td> <td>29,932</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,306</td> <td>127,861</td> <td>1,306</td> <td>114,042</td> </tr> </tbody> </table> 各年度、翌年5月31日現在の数値			H22	H23	件数	3.29件	4.90件	金額	11.20%	14.76%		H22		H23		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	過年分	815	83,963	877	84,110	現年分	491	43,898	429	29,932	合計	1,306	127,861	1,306	114,042					
	H22	H23																																						
件数	3.29件	4.90件																																						
金額	11.20%	14.76%																																						
	H22		H23																																					
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)																																				
過年分	815	83,963	877	84,110																																				
現年分	491	43,898	429	29,932																																				
合計	1,306	127,861	1,306	114,042																																				
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント																																		
III			III			III																																		
(3) 入院時医学管理加算として退院時の開業医への紹介率(退院時加算等40%以上)の向上 項目番号 56 現在の入院時医学管理加算等の加算を維持するとともに、小児入院医療管理料3や褥瘡ハイリスク患者ケア加算など診療報酬を増やし収入が確保できる診療体制を整備する。			・入院時医学管理加算(総合入院体制加算)として退院時の開業医への紹介率(退院時加算等40%以上)の向上が達成できた。			(3) 施設基準の取得 項目番号 48 診療報酬制度については、入院基本料の診療報酬最高額である7対1看護体制を維持するとともに、非常勤医師の常勤化や経験年数の長い医師の確保等により冠動脈CT撮影加算やハイリスク分娩管理加算等の新たな施設基準の取得を目指す。																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>59.5%</td> <td>61.5%</td> <td>61.8%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>71.2%</td> <td>73.4%</td> <td>72.7%</td> </tr> <tr> <td>退院時加算</td> <td>44.7%</td> <td>42.1%</td> <td>44.5%</td> </tr> </tbody> </table>			項目・年度	H21	H22	H23	紹介率	59.5%	61.5%	61.8%	逆紹介率	71.2%	73.4%	72.7%	退院時加算	44.7%	42.1%	44.5%	IV			入院基本料7対1看護体制の維持とともに平成23年度に次の施設基準を取得 ◆慢性期病棟等退院調整加算1 H23.4.1取得 ◆急性期病棟等退院調整加算1 H23.4.1取得 ◆外来化学療法加算1 H23.8.1取得 ◆がん治療連携指導料 H23.4.1取得 ◆HPV核酸同定検査 H24.3.1取得																		
項目・年度	H21	H22	H23																																					
紹介率	59.5%	61.5%	61.8%																																					
逆紹介率	71.2%	73.4%	72.7%																																					
退院時加算	44.7%	42.1%	44.5%																																					
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント																																		
III			III			II																																		

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

2-2-3 費用の削減

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																											
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																										
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																																																																									
<p>・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正在在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用などによる費用の削減</p> <p>・医薬品については、全国自治体病院協議会医薬品ベンチマーク・分析システム事業に参加し、医薬品の適正な管理、購入価格の削減に活かす。</p> <p>・医薬品費、診療材料費等の材料費を対前年度比で1%の削減を図り、医薬収益の30%以下を目指す。</p> <p>・ジェネリック医薬品の使用率を8.9%（平成22年度）から9.7%以上を目指す。 項目番号 57</p>	<p>・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正在在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用などによる費用の削減を目指した。</p> <p>・医薬品のコスト削減への取り組み状況 先発品から後発品に、院内コンセンサスを得ながら変更した。</p> <p>・コンサルタント活用による情報収集と診療材料のコスト削減への取り組み。</p> <p>ジェネリック医薬品使用単位数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>増加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用率</td> <td>10.74%</td> <td>12.53%</td> <td>1.79%</td> </tr> </tbody> </table> <p>ジェネリック医薬品の使用比率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>6.36</td> <td>6.51</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>11.96</td> <td>10.01</td> </tr> </tbody> </table> <p>医薬収益に対する材料費比率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>15.46</td> <td>14.34</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>13.07</td> <td>14.06</td> </tr> </tbody> </table> <p>※高度医療において、高額材料を使用した事例が増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 胸部・腹部大動脈ステントグラフとの増加 機械弁等の単価50万円以上診療材料の増加（対前年150.7%） 	年度	H22	H23	増加率	使用率	10.74%	12.53%	1.79%		H22	H23	品目ベース	6.36	6.51	金額ベース	11.96	10.01		H22	H23	薬品費	15.46	14.34	診療材料費	13.07	14.06	III	<p>医薬品・診療材料の在庫管理を適正に行い院内在庫を必要最小限に抑える。また、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の積極的採用（採用率を金額ベース・採用品目ベースともに平成22年度実績以上）や他病院の契約単価の調査などにより、医薬品については15%、診療材料については10%（対医薬収益比率）を目標として費用の削減を図る。 項目番号 54</p>	<p>(1) 医薬品・診療材料の在庫管理を適正に行い院内在庫を必要最小限に抑えた。また、コンサルティングを導入して、ディーラーやメーカーのヒアリングを基に価格交渉を行い、医薬品については14.2%、診療材料については9.4%の対医薬収益比率削減となった。</p> <p>ジェネリック医薬品の使用比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>10.10%</td> <td>13.01%</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>10.00%</td> <td>9.71%</td> </tr> </tbody> </table> <p>医薬収益に対する材料費比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>14.40%</td> <td>14.20%</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>10.50%</td> <td>9.40%</td> </tr> </tbody> </table> <p>薬品費及び診療材料費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>1,937,995千円</td> <td>1,958,884千円</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>1,423,213千円</td> <td>1,293,587千円</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	品目ベース	10.10%	13.01%	金額ベース	10.00%	9.71%		H22	H23	薬品費	14.40%	14.20%	診療材料費	10.50%	9.40%		H22	H23	薬品費	1,937,995千円	1,958,884千円	診療材料費	1,423,213千円	1,293,587千円	III	<p>(1) 在庫管理の徹底 項目番号 49 薬品・診療材料及び消耗品については、物流管理システムによる在庫管理を徹底するとともに、薬品・診療材料の新規品目採用時には、原則として類似品目を廃止することで、費用の削減を図る。</p> <p>医薬品・診療材料における物流システム、給食材料における栄養管理システムの活用により重複購入・誤払出防止など適正在庫の実現と在庫圧縮に努めることで費用削減を図ったほか、新規品目採用時は薬事委員会・診療材料委員会で審議の上採択することとし、その際は原則として類似品目を削除するよう努めた。</p> <p>ジェネリック医薬品の使用比率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>21.3%</td> <td>22.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>医薬収益に対する材料費比率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>12.1%</td> <td>12.1%</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>8.2%</td> <td>8.2%</td> </tr> <tr> <td>給食材料費</td> <td>1.3%</td> <td>1.2%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>21.6%</td> <td>21.5%</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	品目ベース	21.3%	22.7%		H22	H23	薬品費	12.1%	12.1%	診療材料費	8.2%	8.2%	給食材料費	1.3%	1.2%	全体	21.6%	21.5%	III
年度	H22	H23	増加率																																																																														
使用率	10.74%	12.53%	1.79%																																																																														
	H22	H23																																																																															
品目ベース	6.36	6.51																																																																															
金額ベース	11.96	10.01																																																																															
	H22	H23																																																																															
薬品費	15.46	14.34																																																																															
診療材料費	13.07	14.06																																																																															
	H22	H23																																																																															
品目ベース	10.10%	13.01%																																																																															
金額ベース	10.00%	9.71%																																																																															
	H22	H23																																																																															
薬品費	14.40%	14.20%																																																																															
診療材料費	10.50%	9.40%																																																																															
	H22	H23																																																																															
薬品費	1,937,995千円	1,958,884千円																																																																															
診療材料費	1,423,213千円	1,293,587千円																																																																															
	H22	H23																																																																															
品目ベース	21.3%	22.7%																																																																															
	H22	H23																																																																															
薬品費	12.1%	12.1%																																																																															
診療材料費	8.2%	8.2%																																																																															
給食材料費	1.3%	1.2%																																																																															
全体	21.6%	21.5%																																																																															
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	I22 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	I22 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	I22 検証 結果	検証 結果																																																																									
	III			II			III																																																																										

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
						(2) 経営意識の向上 項目番号 50 毎月の経営情報を院内グループウェアで提供することで、職員全員の経営意識を向上させ、一層の費用削減に繋げる。	経営概要（業務量、収支状況）を院内の掲示板「サイボウズ」に掲示し、職員の経営意識の向上を図り、日々の業務において改善できることは直ぐに実行し、費用削減に努めた。	III
						◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果 III	検証 結果
						(3) 内部牽制機能の強化 項目番号 51 より安価でより効率的な執行に努めるとともに、内部牽制機能を強化することで、安易な執行の抑制を図る。	物品の請求の際は各部署において責任者（看護部の場合は各セクション責任者から看護部）の承認を受けて請求する等の内部管理体制を徹底した。	III
						◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果 III	検証 結果